

第1回安芸高田市上下水道料金審議会 議事録

日時：平成29年10月23日（月）14：30～

場所：安芸高田市民文化センター 4階小ホール

1. 開会

2. 副市長あいさつ

—副市長あいさつ—

3. 委嘱状交付

4. 自己紹介

—各委員の自己紹介—

5. 審議会条例

—事務局より条例の説明—

6. 会長及び副会長選任

会 長：福山市立大学 堤行彦氏に決定

副会長：吉田町地域振興会連絡協議会 会長 平田武幸氏に決定

7. 諮問

副市長より諮問

8. 議事

- ① 上下水道の概要・現状・課題
- ② これまでの取り組み・現在の料金
- ③ その他

— 意見等 —

委 員 ●市設置浄化槽を毎年100基整備することを目標にしているとのことだが、実際の整備状況と実績について教えてほしい。

事 務 局 ■市設置浄化槽は合併前から導入している。100基というのは平成28年度からの目標であり、平成23年から平成27年は毎年130基を目標としていた。年度により設置数は異なるが、直近の情報として平成27年度は92基、平成28年度は101基の設置をしている。安芸高田市は集合処理事業の整備完了に伴い、今後は個別処理事業の市設置型浄化槽により整備を推進していく。

— 意見等 —

- 委員 ●個別処理事業が安価に整備できるイメージがあるため、集合処理事業を将来的に廃止すべきではないか。
- 一般会計による負担は他事業にも言えることであり止むを得ない部分があるのではないか。
- 具体的に将来にかかる経費、更新方針を示してほしい。
- 事務局 ■将来の財政計画については2回目以降に示す予定である。
- 水道事業は、更新はダウンサイジング（小規模化）なども含み、柔軟な検討を行う予定である。
- 下水道事業は、供用後20年を目途に施設の長寿命化を図っていく予定である。水道事業と同様にダウンサイジングや統廃合についても検討していく予定である。
- 集合処理と個別処理は、経済比較により選定をしている。
-
- 委員 ●地形的に類似しており、人口などが安芸高田市より比較的小規模と思われる神石高田町のほうが、汚水処理原価が低いのはなぜか。
- 事務局 ■次回までに返答致します。
-
- 委員 ●水道事業は今年度より統合しているため、簡易水道事業と飲料供給施設も合算した値を示してほしい。
- 事務局 ■第2回目以降に提示予定である将来の財政計画は、全ての事業を統合した検討を行っている。
-
- 委員 ●個別処理事業の管理状況・汚泥処理状況、自家処理家屋の有無について教えてほしい。
- 事務局 ■浄化槽法に基づき、年1回以上の清掃を実施している。また、引き抜いた汚泥は、高宮町にある汚泥再生処理センター「安芸高田清流園」で、し尿と共に汚泥の堆肥化（炭化）を実施している。汚泥の再利用により循環型社会への推進をしている。
- 自家処理をされている方は、若干ではあるがいる。毎年調査を実施しており、国へ報告をしている。
-
- 会長 ●安芸高田市の上下水道事業の現状・課題、経営改善への取組などについて説明をしていただき、非常に厳しい経営状況であることが分かった。今後は、改定を含めて適切な上下水道料金の検討を進めていきたいと思うが、宜しいか。
- 委員一同 ■同意する。
-
- 委員 ●料金滞納者へ市の対応を教えてください。
- 事務局 ■滞納額が大きい方に対し、予告後に給水停止を実施している。上下水道を共に利用している方には効果があるが、井戸水利用者など下水道のみを利用している方には効果が薄い状況である。そのような方は、個別に対応をしている。

— 意見等 —

- 委員 ●答申の内容が料金改定に直結するのか。
- 事務局 ■団体代表者や有識者により構成される市の付属機関として本審議会で決まった答申は、重要な意見であるため市として尊重していく。そのため、審議会で決まった答申書の方針に則り、実行していく。
- 委員 ●ご説明頂いたとおり、本審議会は重要な内容であるため、慎重に審議をすることが必要。
- 委員 ●本審議会で具体的な金額、料金体系を決定するのか。
- 詳しい財政状況について説明していただき、改定の必要性を示してほしい。
- 経費削減について説明をしてほしい。
- 委員 ●将来必要となる料金と過去の料金改定の実施状況について示してほしい。
- 会長 ■平均改定率が示されると思うが、これについて議論してほしい。
- 委員 ●中国新聞に掲載された水道事業の広域連携について、市としての考えはあるか。
- 事務局 ■広島県内の料金統合などの水道事業の広域連携は、現在、県の企業局での検討段階だが、安芸高田市としても今後、検討を進める予定である。広域連携の取組は、実現するのが早くても10年後になると思われる。それに対し、本審議会の内容は、近い将来1、2年後についての上下水道事業の検討である。
- 委員 ●料金算定期間を3年間としているが、長期的な観点での検討も必要ではないか。
- 平成28年度の直近実績の確認が必要ではないか。
- 事務局 ■将来の財政シミュレーションは、10年間検討している。

9. 連絡事項

次回の審議会の日程について

日時：12月7日（木）14：30～ の予定

場所：向原生涯学習センターみらい

10. 閉会

— 副会長あいさつ —

— 配布資料 —

- ① 第1回 安芸高田市上下水道料金審議会 次第
- ② 安芸高田市上下水道料金審議会資料（第1回）